

# 日本全国で支えた震災復興

## — 発掘調査員として宮城県女川町へ

話題提供 **福沢 佳典** さん (松本市教育委員会生涯学習課・  
あがたの森文化会館職員)

日 時 **11月9日(土)** 午後1時30分～3時30分(予定)

会 場 **あがたの森文化会館 講堂・第一会議室** 参加費 200円

※ 電話での事前申し込みが必要です

2014(平成26)年度、当時松本市教委文化財課に所属していた私は、宮城県女川町へ発掘調査員として派遣されました。

女川町は海岸線が入り組み、海に面した小さな浜ごとに集落がありましたが、東日本大震災により海から離れた高台への移転が必要となりました。海を見下ろす高台には遥か昔の縄文時代の集落(遺跡)がありましたが、高台移転の造成により遺跡が壊されてしまうため、事前に発掘調査が必要でした。

女川町には発掘調査ができる職員がおらず、本来なら宮城県職員が市町村の発掘調査支援をしますが、被災地が広範囲で県職員だけでは人が足りず、速やかな復興のため全国から応援派遣となりました。

派遣職員の中には阪神淡路大震災で被災し、その時に支援を受けた兵庫県の多くの職員が、「恩返し」として参加していました。

近年、自然災害被害が甚大なものとなっており、道路や電気・水道などのインフラや物資支援の他にも、文化財保護の支援も必要となってきました。

今回のサロンでは、女川町での活動紹介とともに、遺跡保護と現在の暮らしの両立、被災地支援による自治体同士のつながり、文化財保護の取り組みなどを皆さんと考えていきたいと思っています。

福沢佳典(ふくざわ・よしのり)さんは1980年松本市生まれ。富山大卒。2009年、松本市職員となり市教委文化財課に配属。中央公民館、市立博物館を経て2023年4月からあがたの森文化会館勤務。2013年度には松本城大手門跡の発掘に従事した。

☆テーマに沿って話題提供者の話のあと、気楽に懇談。自由にご参加ください。

主催：サロンあがたの森実行委員会 共催：旧制高等学校記念館・記念館友の会

申し込み・問い合わせ 旧制高等学校記念館 ☎35-6226 FAX 33-9986